

(その他)

平成14年度中止箇所 再評価結果

事業名	いわき市小名浜住吉地区	都市名	福島県いわき市		
施行者	地域振興整備公団	施行面積	約50ha	事業採択	平成12年度予算採択
事業概要	いわき都市圏の交通上の優位性を活用して、既往の工業集積を物流面から支えるとともに、分散している住宅団地や工業団地の機能との連携を図りつつ、重要港湾小名浜港の国際港湾としての機能強化と連携し、新たな地域拠点として流通拠点を整備し、都市圏の再構築に資する。				
再評価時の費用便益比	B/C=2.2	全体事業費	約150億円		
再評価指標項目例	<p>(1) 事業の必要性等</p> <ul style="list-style-type: none">・社会経済情勢・地元情勢等の変化①地質調査の結果、軟弱地盤対策（圧密沈下促進、液状化対策）の必要性が生じ、事業費が増嵩。この対策として、保留地の増加による事業費確保、あるいは、地元負担の増加等があるが、<ul style="list-style-type: none">・保留地の増加による減歩率増加は権利者の合意が得られない。・地元公共団体の財政状況が厳しく、更なる負担増加は困難。であり、結果として、採算性の確保が困難な状況となった。②小名浜港背後地において工場跡地が発生し、小名浜地区全体（小名浜住吉地区、小名浜港背後地）として流通拠点を含む土地利用のあり方について、行政・民間など協同で新たに検討する必要性が生じた。 <p>(2) 事業の進捗の見込み</p> <ul style="list-style-type: none">・都市計画決定（土地区画整理事業、都市施設等）がなされていないことから、土地区画整理事業の認可までに一定の時間が必要。・採算性の確保が困難であり、事業化の目途が立っていない。 <p>(3) コスト縮減や代替案の可能性</p> <ul style="list-style-type: none">・事業の初期段階であり、抜本的見直しは可能であるが、現土地利用計画で採算性を確保し、権利者の合意形成が図れる代替案は困難。				
事業の進捗状況・事業採択時より再評価時までの周辺環境の変化等	<ul style="list-style-type: none">・地質調査の結果、軟弱地盤対策（圧密沈下促進、液状化対策）の必要性が判明。・小名浜港背後地において工場跡地が発生し、小名浜地区全体として流通拠点を含む土地利用のあり方について、行政・民間など協同で新たに検討する必要性が生じた。・採算性の確保が困難であり、事業化の目途が立っていない。				
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none">・軟弱地盤対策による事業費の増嵩のため、採算性の確保が困難、また、小名浜地区全体として流通拠点を含む土地利用のあり方について新たに検討を行っていることなど、総合的に検討した結果、事業主体としての公団の本事業継続は中止。・今後は、いわき市における新たな土地利用の検討及び企業誘致への協力を検討。				
対応方針	・事業中止				
事業概要図					